

代表質問通告一覧表

令和2年3月

【代表質問】 2月28日（金）午前9時～

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
1	いなべ未来 (65分)	岡 英昭	<p>1.いなべ市の健全財政を維持するために (1)合併特例債終了の影響は (2)同規模の自治体の財政規模に戻すことによる市民への影響は (3)市税収入を増やすための手段は (4)東海環状自動車道の完成による市税の影響は (5)基金・地方債の今後の動向は</p> <p>2.いなべ市の地方創生の進め方について (1)地方創生について (2)総合窓口の今後について (3)人口減少を防ぐために</p> <p>3.いなべの未来を創るために (1)障がい者のグループホームについて (2)パートナーシップ証明制度の導入について (3)「ひきこもり支援センター」について</p>
2	創風会 (60分)	清水隆弘	<p>1.誇りと愛着の持てるまちづくりについて (1)「いなべの自然や風土、農や食に磨きをかける」プランは。 (2)その結果の「新たな魅力を発信」の方法・工夫する点は。 (3)今後の本市の未来にとって肝要な「住む人が誇りと愛着の持てるまちづくり」。新たな任期をスタートした市長の考えるビジョンは。</p> <p>2.人口減少と新たな産業の振興について (1)「女性の有配偶率は高いにもかかわらず、出生率が国や県に比べ低くなっています。」とあるが、その原因と対策はどう考えているか。 (2)女性の有配偶率に比べ、男性の有配偶率は国の平均より高いとは言え、県平均よりは低く、ワースト5位(平成22年総務省統計局「国勢調査」)である。この状況の原因と対策はどう考えているか。 (3)「子どもの数を夫婦の理想に近づけるには、男性の育児参加と安心して仕事と子育てを両立できる職場環境の整備が課題です。その解決策の1つとして、いなべ市に眠る様々な資源を掘り起こし、サービス業を中心とした新たな産業を興すことが望まれています」について (4)新たな保育需要の見通しをどのように考えているか。 (5)児童相談システムの詳細は。</p> <p>3.「未来への安らぎを創る」について (1)4-2【市道のゾーン30化】について、昨年度は東員町三和小学校付近で実施された。本市においても、数年前から自治会要望書が提出されていた。いなべ警察署としても管轄する東員町だけでなく、本市においてもゾーン30の地域の指定に前向きであると聞く。今回、員弁西小学校区のゾーン30化の経緯と実施時期についての詳細は。 (2)4-4【ハザードマップの更新】について</p>

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
3	政和会 (60分)	川瀬利夫	<p>1.【人口減少と新たな産業の振興】について (1)移住支援制度の活用と空き家住宅活用事業の現状と課題は (2)いなべに眠る様々な資源の一つである農業。住みよさランキングでは農業は下位にあるが、その現状と課題は。</p> <p>2.【地球温暖化と災害対策】について (1)市民温水プール建設事業について (2)旧庁舎を含めた公共施設のあり方について</p> <p>3.【一歩先の改革】について (1)小学校における PC やタブレット端末を用いた教育が児童へ与えた影響は (2)いなべ市男女共同参画推進計画の「職場」「家庭」「地域」の取り組みは。</p>
4	かがやき (50分)	位田まさ子	<p>1.財政状況を問う (1)地方交付税の増加について (2)基金・地方債の減少について</p> <p>2.未来への支え合いを創る (1)ひきこもりの支援について (2)有償ボランティア活動運営事業について (3)障がい者の就労支援とグループホーム</p>
5	日本共産党 いなべ市議団 (50分)	衣笠民子	<p>1.少子化対策について (1)【誇りと愛着の持てるまちづくり】 「交流を定住につなげ」とあるが、いなべの魅力の発信で交流を増やすことは分かるが、それを定住につなげる具体策は。 (2)【人口減少と新たな産業の振興】P1 ①「子どもの数を夫婦の理想に近づけるには、男性の育児参加と安心して仕事と子育てを両立できる環境の整備が課題です」と結論づけて解決策の1つが、「サービス業を中心とした新たな産業を起すことが望まれる」としている。この考察のバックデータはなにか。どこがこの考察を行ったのか。 ②子どもの数を夫婦の理想に近づけるには、子育て費用の経済的支援も必要ではないか。</p> <p>2.施設整備について (1)旧庁舎について 【地球温暖化と災害対策】 (2)障がい者のグループホームについて 2-11【障がい者の就労支援とグループホーム】 (3)市民温水プールについて 【地球温暖化と災害対策】</p> <p>3.多様性を認め合う社会へ 【一歩先の改革】P2 (1)男女共同参画社会の実現のために取り組むことは。 (2)パートナーシップ証明制度の導入は、具体的にはどのようにするのか。 (3)「多様性を尊重する様々な活動を推進し」とあるが、多様性を尊重する様々な活動とは。</p>

一般質問通告一覧表

令和2年3月

【一般質問】 3月4日（水）、5日（木）午前9時～

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
1	いなべ未来 (180分)	鈴木順子	<p>1.市民の健康を守るために (1)フレイル予防について (2)歯と口腔の健康について (3)子どものインフルエンザの助成について (4)いなべ市民の健康を守るための将来的な構想は</p> <p>2.小規模事業者支援体制の強化 (1)法定経営指導員について (2)経営発達支援計画について (3)事業継続力強化支援計画について</p>
2		原田敬司	<p>1.公共交通政策について (1)いなべ市の現状の公共交通の概要について (2)高齢者の自動車運転問題について (3)若者の通学上及び学習のための公共交通について</p> <p>2.若者定住策について (1)現状の土地開発公社の所有地について、残存率及び面積及び用地はどこか (2)今後の開発について (3)主要市道の整備状況について</p> <p>3.子育て支援について (1)子育てに対する経済的支援について、市設の奨学金制度(無利子・返済減免・返済免除等含)の創設は考えないのか (2)一部のNPOが行なっているように、放課後児童クラブ支援体制を支援員だけでなく、地域シルバー人材の方など地域住民も参画してもらい、更に強化できないか</p>
3	創風会 (120分)	篠原史紀	<p>1.いなべ新時代における市長の福祉政策ビジョンを質す (1)2025、2040問題を目前に高齢者福祉の充実の具体策を (2)障がい者福祉について</p> <p>2.いなべ新時代における市長の地方創生政策ビジョンを質す (1)いかに人口を維持・確保するのか。 (2)持続可能社会を実現するための地区活動(市民活動)の維持・充実について</p> <p>3.いなべ新時代における主権者教育について質す 今後、子どもたちが日本の担い手としてしっかり生き抜き、理想的にはいなべ市の担い手になってもらえるよう、教育の中で重要視している点は。</p>

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
4	創風会 (120分)	片山秀樹	<p>1.いなべ市で子育てを行うことを決意するために聞く (1)0歳児の受け入れ、マンツーマン保育を実施しているいなべ市ですが、市外に勤める正社員のキャリアのため、延長保育の時間について、現状の18時から19時とすることを希望するが、二階の高さによって可能性はあるか (2)児童生徒の通学路の安全対策について (3)これからの教育は生きる力を身に付けることが大切だと考えるが、教育長の考えとその方法、課題について聞く</p> <p>2.獣害対策について問う (1)猿対策について問う (2)豚コレラ発生により銃による制限があったが、4月以降についてはどのような見通しが考えられるか</p> <p>3.にぎわいの森について問う (1)にぎわいの森事業の活性化と事業目的達成のため、各店舗が一体感を持って営業活動をするべきと考えるがどうか (2)各店舗の自立的な活動と、いなべ市が期待する事業の目的達成に向けて見えてきた課題はないか (3)まちづくり法人設立が近づくが、進捗状況と法人の活動内容、人員配置は</p>
5	政和会 (120分)	西井真理子	<p>1.GCI事業としてのにぎわいの森とシビックコアの役割を問う (1)にぎわいの森のコンセプトについて (2)ぶどう園について、BLUECHIPが運営しているが、その作業実態は (3)シビックコアについて</p>
6		新山英洋	<p>1.各種団体への補助金交付制度の運営とその実態を問う (1)市から各種団体等への補助金交付の総件数、予算総額は(平成30年度実績) (2)いなべ市補助金等交付規則に基づき、過去3年(平成28・29・30年)の交付実績と返還実績は (3)いなべ市補助金等交付規則に基づく、補助金交付決定の基準は (4)補助金を監査するにあたって、監査の着眼点と、過去3年の補助金支払いに対する主な指摘事項は</p>
7	かがやき (120分)	神谷 篤	<p>1.残土投棄について (1)市内での残土投棄の状況はどうか。 (2)実際に残土投棄に関わって、問題として把握している事柄は。 (3)制定された残土条例に対しての考えはどうか。 (4)不法な残土投棄を防ぐ上で、課題として考えられることは。</p> <p>2.外国籍住民の子どもの就学状況について (1)ここ数年の外国籍住民の変動は。 (2)外国籍住民の子どもたちの変動は。 (3)外国籍住民の子どもの修学状況の把握はどのように行っているのか。 (4)外国籍住民の不就学の子どものはいないか。 (5)今後の課題として考えていることは。</p>

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
8	日本共産党 いなべ市議団 (60分)	岡 恒和	<p>1.公立学校教職員の勤務時間縮減と変形労働時間制を問う</p> <p>(1)教職員の勤務時間の上限に関する方針の策定状況は。</p> <p>(2)タイムレコーダーやICTの活用による勤務時間管理の取り組み状況は。</p> <p>(3)学校閉校日の設定による効果および課題は。</p> <p>(4)学校徴収金(給食費、教材費、修学旅行積立金等)の集金・管理事務などは、基本的には本来的な学校業務ではないと考えるが、どのような対応を考えているか。</p> <p>(5)学校に導入されようとしている「変形労働時間制」はどのようなものか。</p> <p>(6)効果および問題点をどのように認識しているか。</p> <p>(7)3月までに通知が出されると思うが、その後の導入までの流れはどのようになるか。</p> <p>2.介護保険制度について</p> <p>(1)市内の入居施設の種類ごとの収容人員(戸)数は。</p> <p>(2)それぞれの施設の月の利用料金はおおよそどの程度か。</p> <p>(3)特別養護老人ホームの待機者数はどの程度か。</p> <p>(4)今後の高齢者数、高齢者世帯数の推移をどのように想定しているか。</p> <p>(5)第8期介護保険事業計画の取り組み状況と課題は。</p> <p>3.会計年度任用職員について</p> <p>(1)総務省は自治体への財政支援として1700億円の措置を行うと発表し、期末手当の支給条件が整った。不支給の見直しが必要ではないか。</p> <p>(2)引き続き会計年度任用職員となる職員への説明、希望の聞き取りなどは行ったか。</p> <p>(3)会計年度任用職員制度に関し、今後検討すべき課題をどう考えているか。</p>